

フラッセル日本人学校補習校 学校だより No.23



ベゴニア

～子どもたちの「わかった」「できた」
「楽しかった」の笑顔あふれる補習校～



後期スタート、気持ちを新たに・・・

2022年（令和4年度）11月5日

文責 校長 佐藤 博

約2週間の秋休みも終わり、今日から後期がスタートします。学校文化の良いところは、こうやって1年の中でもいくつかの節目があり、その都度気持ちをリセットして取り組むことができることです。今日の始業式では、再スタートに向け、気持ちをリセットしつつも、終業式で話した「短所は少しずつ直し、長所はさらに伸ばすことができる、そんな後期にしてほしい」ということを伝えました。

後期に入ってすぐの12月3日には音読発表会も予定されています。日頃の成果をしっかりとみんなの前で発表できるように練習に取り組んでほしいです。また、この日の朝の集会の時間を使って、アルバム用の全校写真を体育館で撮影する予定です。集会後の撮影なので、9時10分ごろを予定しています。「学校文集」の表紙となる大事な写真です。遅刻等がないように注意してください。



朝の登校指導について

朝早い時間からの登校指導にいつもご協力いただき本当にありがとうございます。補習校は週に1回しか先生方全員と顔を合わせる機会がないため、我々が打合せをしている最中に、このようなボランティアで登校指導をしていただくと非常に助かります。

さて、朝の登校指導について確認をしておきます。昨年度までは手指消毒を裏門で行っていましたが、本年度は実施しておりません。裏門では、子どもたちの様子を見守りながら日本語でのあいさつをお願いします。腕章等はつける必要はありません。見守りの時間ですが、8時45分～9時でお願いします。8月10日に当番表については学校からメールで配信しておりますので、順番等はそこで確認をお願いします。



昼食は外か1年教室にてお願いします

午後に様々な活動が予定されていて、学校で昼食をとることもあるかと思います。昼食は、基本的に外か1年教室でとるようにお願いしています。これからは寒くなってくるので1年教室を使うこともあるかと思いますが、月曜日には全日が教室を使用しますので、ごみは必ず持ち帰るとともに、また使用後の教室に残飯等が落ちていないかの確認をよろしくをお願いします。なお、学年の活動等で使う場合には、他の場所での飲食も可能な場合があります。その時は事前に学校（教頭）まで連絡をよろしくをお願いします。

学級紹介～中学部 3年(松山 智愛先生)

後期が始まりました。学級紹介も残りわずかです。あと少しですがどうぞお楽しみください。今回の学級紹介は中学部3年担任の松山智愛先生です。

私の名前を正しく読めた人は今までたった2人だけ。高校の時の生物の先生と某お役所のうら若き女性。その時はびっくりして返事ができませんでした。画数も多くて子どもの頃は親を恨みました(笑)が、素敵な名前を付けてくれた亡父に今は感謝しています。

私の出身はブラックサンダーの故郷。さあ、どこでしょう？

確かに「智愛」、読めそうでなかなか読めない名前ですね。日本一簡単な名前である私からすると、逆に羨ましくて仕方ありません。わからない人はぜひ中3の教室まで行って、直接聞いてみてください。ついでにブラックサンダーの故郷も聞いてみるといいかも・・・また、松山先生は演技指導が非常に上手な先生でもあり、実は今年のマロニエ祭で踊った「マツケンサンバ」は全て松山先生が監督として指導してくださいました。右の写真、その時のものです。先生のおかげで大盛り上がりでした。ありがとうございました。

次は先生による学級紹介です。

思いやりと優しさ、それに集中力。三拍子兼ね揃えた中学3年生です。素直なところもまた彼らの魅力。毎週心を和ませてくれます。コロナ規制で今まで我慢してきた分、補習校最後の1年を思いっきり楽しんで充実させてほしい。それが担任の願いです。本気モードでぶつかってくる生徒とともに卒業の日まで笑顔で走りぬぎます。

スポーツデーや遠足など、中3の子たちと一緒に活動することが多いのですが、思いやりあふれる一言でいつも心が癒されています。優しい子がいっぱいの中3年生、卒業まであと4か月とちょっと・・・補習校生活をいっぱい楽しんでね。

最後に担任の先生からひと言・・・

「人は変えられない。でも人は変わる。己を知れ。自分が何者なのか。」

補習校を卒業し、様々な世界へと旅立っていく中学3年生の皆さんにとっては、考えさせられる言葉だと思います。しっかり自分という人間を見つめながら、成長を続けてほしいと思います。

